石川県議会議員 打出喜代文 活動レポート⑭

打出のこづち

打出きよふみ事務所
〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27　近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715　Eメール：info@uchidekiyofumi.com

消防・防災強化について再質問で追及

県議会一般質問

令和4年9月15日の県議会一般質問において、初当選以来、14回連続で議場での発言の機会をいただき、「子ども・子育て支援の充実」など6点について、発言させていただきました。

子ども・子育て支援の充実について

Q1 少子化対策監室をこども家庭担当部に発展的に改組し、少子化対策のみならず子ども・子育て政策を強力に推進していくための新たな司令塔を設置してはどうか。

A.県の組織、人事については、子ども・子育て支援の分野を含め、その時々の県政各分野の政策の実現に向けてふさわしい体制となっているか、不断に検証していく必要があると考えている。

県立高等学校の校則について

Q1 校則は高校を選ぶ際の有益な情報となることからホームページ等で公開していない学校に対し、早急に公開するよう求める考えはないか。

A.国において検討されている生徒指導提要の改訂案では校則の内容をホームページ等に公開しておくことが適切とされており、今後、改訂内容をよく確認した上で適切に対応したい。

Q2 今後、校則を見直す際には、生徒や保護者等の意見を反映する必要があると考えるがどうか。

A.生徒指導提要の改訂案においても、見直しに当たっては児童会や生徒会、保護者会の場で校則について確認や議論をする機会を設けることなどが示されており、改訂内容をよく確認した上で適切に対応したい。

Q3 生徒指導提要の改訂も踏まえ、少なくとも来年度には、全校でジェンダーレスの制服を導入すべきでないか。

A.全日制の県立高校38校のうち33校で女子生徒が着用するスラックスの制服を導入しており、残る5校においても導入を検討している。

消防・防災の強化について

Q1 消防学校の機能強化に向け、移転も選択肢に含めて検討していくのか。

A.教育訓練拠点としての機能強化を中心に検討を進めていく中で、消防学校のあるべき規模などについても議論されていくものと考えている。

Q2 8月4日の豪雨災害時に、石川県河川総合システムにアクセスすることが困難となった事象を踏まえ、総合行政ネットワークを経由して、県が公開している防災情報にアクセスするよう、全ての消防本部に助言すべきと考えるがどうか。

A.総合行政ネットワークを整備するということは大切と考えるが、多額の経費を要することから、河川総合情報

システムにアクセスできない場合は、同様の情報を確認できる国土交通省の「川の防災情報」を活用してもらうことをまずは周知した。

医療従事者や保健所職員の負担軽減について

Q1 **陽性者登録・フォローアップセンターの運用開始により、保健所職員の負担はどの程度軽減されるのか。また、他にどのような負担軽減策に取り組むのか。**

A.陽性者登録・フォローアップセンターは医療現場の負担を軽減し、ひいては医療提供体制の強化に資するもので、今後とも様々な工夫を凝らしながら保健所職員の負担軽減を図りたい。

Q2 **コロナ禍以降、県立中央病院やこころの病院では、職員の負担軽減のため、どのような取り組みを行ってきたのか。また、負担軽減に向け、職員定数の改善と増員を図るべきと考えるがどうか。**

A.看護師などの医療従事者を臨時的に雇用し、職員の感染などによる人員不足に速やかに対応するなど、人員の確保に機動的に取り組んできた。

Q3 **コロナ禍以降、介護職員の負担軽減のため、どのような取り組みを行ってきたのか。**

A.職員の感染による人員不足を補うための臨時的な雇用や家庭内感染防止のための宿泊に要する経費などを支援しているほか、クラスター発生時の業務逼迫時には施設間で応援職員を派遣し合う相互支援体制も構築している。

ルビーロマンの海外流出について

Q1 **苗木の韓国への流出について、知事の思いを聞く。**

A.今般、県が開発したルビーロマンが韓国で生産・販売されていると考えざるを得ない事態が発生したことについては、誠に遺憾であり、憤懣(ふんまん)やるかたない思いである。

Q2 **ブランド価値を守る対策を検討するためにも、海外での生産者数や栽培面積、生産量などの実態調査をすべきと考えるがどうか。**

A.韓国産ルビーロマンの生産者や苗木の販売業者を可能な範囲で把握し、任意で聞き取りを行っているところであり、その他の国については、調査を行うことは困難と考えている。

特殊詐欺被害防止対策について

Q1 **被害防止に有効な通話録音警告機の購入費用補助制度を創設し、高齢者世帯への設置を推進してはどうか。**

A.警察独自の補助制度については、全国に先駆けて補助制度を導入した宮城県警察のほか全国警察の動向を調査した上で、導入を研究したい。

お住まいの地域で困ったことはございませんか?

［解決事例］ 横断歩道内の点字ブロックと白線を修繕

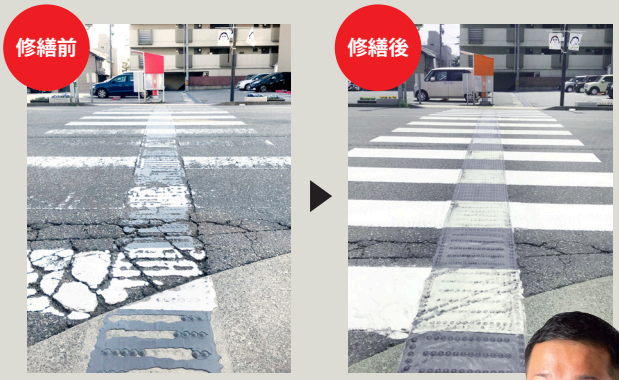
地元にお住まいの方から、「主要地方道　金沢湯涌福光線を交差する『石引1丁目交差点』横断歩道内の視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)が破損しており、白杖を使用している方が、横断歩道内で立ち往生しているところを見かけた。早急な修繕が必要ではないか。」との声をいただきました。

状況を確認したところ、『石引交差点』『石引金大病院前交差点』の横断歩道でも、点字ブロックが破損していることがわかりました。

道路を管理する石川県土木部に声を届けたところ、現場を確認いただき、3箇所とも早急に修繕していただきました。また、『石引金大病院前交差点』では横断歩道の白線が薄くなっていたため、県警察に依頼し、白線を引き直していただきました。

ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。

石引金大病院前交差点



打出きよふみ事務所

金沢市小立野 3-23-27　近藤ハイツ 1 階
TEL：076-260-1655 ／ FAX：076-209-6715
E メール：info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問の録画映像をこちらで視聴することが可能です。ぜひご覧ください。